

# 人生ハンド仏句

第26号

H. 16. 5. 1  
(毎月1日発行)



## イスラム「」について

(1)

住職 谷川寛俊

日本中を震撼させたイラクでの人質事件。自衛隊のイラク撤去を求め、武装グループに拉致され日本人三人を拘束するという前例のない事件が起きた。(その後二人も拘束される)しかし、イラクの聖職者が仲介に入って一週間振りに無事解放され一件落着となり、皆さんも胸をなで下ろされたことでしょう。本当に良かったと思います。そもそもこの戦争の根底にはイスラム教徒同士の宗教戦争であった。そこでこの中近東地域で広まった「イスラム教」について今月号と

来月号の二回に亘って取り上げて見たいと思います。

アラビアの予言者、マホメットを開祖とする宗教で、その開祖の名を取ってマホメット教、回教、ファイフイ教などとも呼ばれる。仏教、キリスト教と並んで世界三大宗教の一つである。

仏教が東洋に、キリスト教が西洋に、そしてこのイスラム教は両者の中間地域にアラビア文化と結合して特殊な文化を見せた。このイスラム教の教義は大きく信仰と儀礼に分けられる。信仰は六信よりなる。六信とは、神・天使・経典(コーラン)・予言者・来世・天命に対する信仰を言い、このうち中心になるものは神、アラールに対する信仰である。イスラム教は一神教で全知全能にして無始無終の神であり、天地の創造主であるアラールの他には、一切の神を認めない。(日本は多神教)だからアラールの神は絶対的なものとしてゐる為、異教

編集・発行  
玉蓮山 真成寺  
編集部  
TEL・FAX (0765)22-2268  
メールアドレス  
kokorochanthk@ybb.ne.jp  
ホームページアドレス  
<http://www.geocities.jp/sinijoujitoyama108/>

徒、或いは信仰のない者との戦い(聖戦と呼んでいる)が起きるのである。来世については、死の天使に生前の信仰の有無を問われ、生前の行いによって極楽か地獄の応報を受けるが、アラールの教えに祈りを続けていればその慈悲に浴して善人も悪人も共に一切の人間は救済されるとしている。又この世の一切の出来事は神意によるものとし、人間の意思と言うものは、神意の許す範囲内で自由であるという信仰である。

(次号へつづく)

## 心算一「ケ」

- ・高いつもりで低いのが教養
  - ・低いつもりで高いのが気位
  - ・深いつもりで浅いのが知識
  - ・浅いつもりで深いのが欲望
  - ・厚いつもりで薄いのが人情
  - ・薄いつもりで厚いのが面皮
  - ・強いつもりで弱いのが根性
  - ・弱いつもりで強いのが自我
  - ・多いつもりで少ないのが分別
  - ・少ないつもりで多いのが無駄
- いかがですか、「なるほど」  
って感じですよね!